

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		ウォーキング推進事業						予算事業名		運動普及推進事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	健康増進法							
				04	01	03	2401	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)							事業の区分		主要事業					
		1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）														
		①健康づくりの推進							担当課係等		健康増進センター					
1健康づくり活動の推進							健康増進係									
事業期間		継続（平成18年度～年度）														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
市民が手軽にできる有酸素運動であるウォーキングを日常生活に取り入れ心身の健康を維持できる。								平成15年に健康増進法が施行され，市町村に健康づくりへの多様な対策が求められるようになった。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
心身の健康づくりのためウォーキングを推進する。 ①ウォーキングイベント（講演会・ウォーキング）の実施 ②ヘルスロードの活動推進 ③ヘルスロード看板作成								20歳以上の市民								
								【事業をとりまく環境の変化】 茨城県では，県民が家庭，地域，職域において家族や仲間とウォーキングを行い，健康増進にチャレンジすることを目的として「いばらきヘルスロード」を265コース指定している（平成26年3月末現在，結城市は3コース認定）								
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】								
①ウォーキングイベント（講演会・ウォーキング）の実施 ②ヘルスロードの活動推進				①ウォーキングイベント（講演会・ウォーキング）の実施 ②ヘルスロードの活動推進				①ウォーキングイベント（講演会・ウォーキング）の実施 ②ヘルスロードの活動推進								
■事業費																
				H29年度		H30年度										
財源内訳	国庫支出金			0		0										
	県支出金			0		0										
	地方債			0		0										
	その他			0		0										
	一般財源			50		230										
歳入計（千円）				50		230										
歳出内訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）									
	08 報償費				33		0									
	11 需用費				1		1									
	13 委託料				0		33									
	14 使用料及び賃借料				16		28									
	15 工事請負費				0		168									
	歳出計（千円）（A）				50		230									
伸び率（％）						360.00										
備考	総合計画４９ページ 予算書 １０１ページ															

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	ウォーキングイベントの開催	回	目標	1.00	1.00	1.00
	手軽にできるウォーキングのイベントを開催し、健康づくりのきっかけとする		実績	1.00	0.00	0.00
	いばらきヘルスロードのコース数	コース	目標	3.00	5.00	7.00
	ウォーキングをより身近に、安全に実施できるよう、いばらきヘルスロードのコースを増やす		実績	3.00	0.00	0.00
成果 指標	ウォーキングイベント参加者数	人	目標	80.00	120.00	150.00
	より多くの市民に参加してもらい、健康づくりに興味を持ってもらう		実績	81.00	0.00	0.00
	週に3回以上ウォーキングをする人の割合（イベント参加者）	%	目標	50.00	60.00	0.00
	ウォーキングイベント参加者のうちウォーキングを習慣としている人の割合を増やす		実績	41.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	手軽にできる有酸素運動であるため、市民の健康づくりの手段として、広く普及させていく必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市民の健康づくりの支援のために自治体が行うべきである。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	ウォーキングイベントに関しては、若い世代の参加者が少ない現状があるため、若い世代が参加しやすい教室の内容や周知方法を検討していく必要がある。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	運動普及推進員の協力を得て、イベントを実施しており、人員は効率的である。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	ウォーキングイベントの参加者は他の運動教室に参加しているリピーターが多いため、より多くの市民が参加できるよう広報等を幅広く行っていく。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	イベント参加者の満足度は高いが、リピーターが多いため、新規参加者を増やし、より多くの市民にウォーキングを習慣づける。また、新たな、いばらきヘルスロードコースの登録を検討し、市民が手軽に安全にウォーキングができる環境を整備していく。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	イベント参加者の満足度は高く、イベント自体も市民に定着しつつあるが、リピーターが多く、新規参加者を増やしていく必要がある。また、ヘルスロードの数が3か所と少ないため、ヘルスロードの整備が必要である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
ウォーキングイベントは市民に定着してきているが、リピーターが多く、若い世代の参加者は少ない。また、ヘルスロードが3か所と少ないため、ヘルスロードの整備を行い、市民が手軽にウォーキングに取り組める環境を整備していく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
新規参加者や若い世代が参加しやすいような企画を検討する必要がある。また、いばらきヘルスロードコースを検討し、市民が、手軽に安全にウォーキングができる環境整備をしていく。 今年度は、ヘルスロードの看板を設置し、ヘルスロードの周知に努める。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 市民の健康づくりのため、ウォーキングの推進を図るとともに、県ヘルスロード結城市コースの増設を検討する。ヘルスロードコースに看板を設置し、市民が気軽にウォーキングができる環境整備を実施する。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	